

# 監査広報

## 平成26年度決算審査の結果

決算審査は、地方自治法などに根拠をおき、1年間の行政活動が適正に行われたかをチェックするものです。

7月15日から28日までの間審査を行いましたので、その結果をお知らせします。

Audit public relations

(審査結果の見方 **監査** 監査委員の指摘事項など **回答** 町の改善策など)

地方自治法第233条第2項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、平成26年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、並びに上水道事業会計決算書、その他の関係証書類について審査し、また、地方自治法第241条第5項の規定により基金運用状況を審査した。

### 審査の結果を意見書として町長に提出

町長から審査に付された各会計決算書、財産に関する調書及び関係諸帳簿、証書類等を精査したところ、いずれも正確に記帳され、その内容も適正なものと認められた。

本審査を通じて確認した予算の執行については、一部事務手続きに改善を要するものを除き、関係法令に準拠して行われており、適正と認められた。

基金の運用状況を示す書類について審査の結果、計数は誤りのないものと認められ、その運用は所期の目的に沿ってなされており、関連する事務の処理は全ての重要な点において適正に行われていると認められた。

### 関係課(局・室)に共通の指摘事項など

**監査** 家屋の評価や徴収事務といった専門性の高い事務については、正確性を維持し説明責任を果たすことが何より大切で、それが町民への信用維持に繋がっていくと思う。人材育成の観点から研修への積極的な参加をしているようであるが、必要とあれば、同様の研修に複数回繰り返し参加するなど、知識の蓄積に努められたい。

**回答** 賦課業務や徴収業務、またその他の業務においても、経験と知識の蓄積をしていくことは、業務を効率的且つ適正に処理していく上で非常に大切なことであるため、OJTの実施など、引き続き、知識の習得に努めます。

### 課(局・室)の指摘事項など

#### ●議会事務局

**監査** 議会中継のテレビ放映の導入を検討しているようであるが、経費の関係もあり実現が先になるようである。町民に開かれた議会という流れを止めることなく、傍聴にしやすい環境を整えられたい。

**回答** 費用対効果を考えながら検討していきます。

#### ●政策推進課

**監査** 決算額全体に占める町税・地方交付税の割合が低下しているが、理由は何か。比率であるので相対的な理由と考えられるが、国庫補助金類の行政運営にはないかと心配している。決算状況をよく分析し、構成比率や傾向も把握されたい。

#### ●回答

町税は前年度より増えています。一方、地方交付税は減っています。これは基準財政収入額のうち地方消費税交付金が増えたことが主な要因と考えられます。構成比率については、国庫支出金が増えたことによる増が主な要因と考えられます。今後も決算の状況を分析し、適正な財政運営に努めます。

#### ●監査

地域公共交通対策の「乗合バス運行事業」「まちのりバス65」「学生通学バス定期助成」については、執行残額が出ている。年度間比較をし、傾向の把握に努め、今後の施策に反映されたい。地域の公共交通対策として、一定の成果は出ているので、引き続き住民の交通ニーズに対応されたい。

#### ●回答

今後も交通ニーズの把握に努め、対応を図ります。

#### ●総務課

**監査** 町営住宅の管理について、増築箇所は、が、全てではないとのことである。将来的に費用負担が問題となること想定されることから、法的な解釈も含め、調査研究し、費用負担に関し貸主借主同じ認識を持つようになされたい。

#### ●回答

未申請による新たな増築が発生することのないように入居者への周知を図るとともに、既増築部分の取扱いについて入居者との意識統一を図ります。

#### ●税務課

**監査** 固定資産税の課税更生に伴う還付については、還付加算金が発生している。評価、賦課の一連の事務の中で、どこに問題があったのか、検証をし、今後には生かされたい。

#### ●回答

固定資産税の課税をする上で、課税客体の正確な把握に努めることが重要であるため、評価から賦課までの一連の事務処理においても、繰り返し見直しを実施し適正な課税に努めます。

#### ●町民課

**監査** 国民健康保険税の現年度分収納率は94.53%で県下トップとのことであるが、意識の高さが感じられる一方、不納欠損を生じていることも事実。徴収に一層の努力を持って更なる収納率のアップを図られたい。

#### ●回答

税の公平性の観点から、滞納者に対しては関係課と連携して、預金・財産調査等を徹底して、滞納処分早期に着手するなど時効完結の阻止に努めます。

#### ●福祉課

**監査** 要援護者名簿の運用の仕方について質問した。地図情報システムと連動した運用であるので、パソコンによる説明を受けた。災害時の安否確認に際し有効と思われるので、情報管理を徹底しつつ、有事に活用出来る体制づくりに努められたい。

#### ●回答

災害時避難行動要支援者名簿を有効活用するためには、地域防災計画の中にこの名簿の活用を位置付ける必要がありますが、安全防災担当室と連携して、災害対策を進めます。

#### ●子育て健康課

**監査** 子育て関連の事業について、警察が関与しているケースがある場合には、担当など重大事件に繋がることが多々あるので、担当としても連絡を十分密にし、慎重に対応されたい。

#### ●回答

警察ほか関係機関と連絡を密にして慎重に対応します。

#### ●観光経済課

**監査** わくわく商品券の実績について説明を受けた。全ての業種において万遍なく利用されているようであり、月別の利用実績からは一定の高額商品に利用されているようであった。効果を測定するため、利用者・事業者のマインドの聞き取りアンケートを取るなどし、今後には生かされたい。

#### ●回答

わくわく商品券については、好評をいただき、商工振興に一定の効果があつたと考えているところです。今後、あしけんプレミアム商品券と松田わくわくお買い物券と併せて、アンケートで利用者・事業者の利用状況を把握し、次年度に生かしていきます。

#### ●まちづくり課

**監査** 新松田駅南口の整備の進捗状況について質問した。小田急の変電施設の移設には多大な費用が掛かり、地権者との交渉も困難が伴

うものであることは承知しているが、住みやすい町の実現に向け、様々な角度から関係者と利害調整を図り、タイミングを逃すことなく着実に推進されたい。

#### ●回答

用地買収については、迅速な対応を心掛け、問題の解決策を検討し積極的に交渉を続けます。

#### ●環境上下水道課

**監査** 廃油モデル事業について事業検証はどのように行っているのか。園バス等の燃料として利用していることで町の姿勢としては充分PRになっていると考えられるが、一般家庭から資源ごみと違い、事業系の廃油回収であり、近隣市町の動向も参考に、再検討されたいかがか。

#### ●回答

廃油モデル事業については、検討いたします。

#### ●教育課

**監査** 町民文化センターについては、老朽化が進み、維持補修費が高み慢性的な大幅赤字が続いている。自主事業収益も頭打ちであり、今後この傾向は続くかと推察される。あり方検討会の報告は尊重しつつも、その際に見込めなかった新たな要因も発生していることから、町の方向性を早急に協議する段階なのではないか。

#### ●回答

町民の文化・芸術活動の振興を図るため必要な施設であります。維持管理に多額な経費がかかっている実態があります。このため、文化センターのあり方検討会の答申も含め、今後の維持管理経費などを踏まえ、施設のあり方を協議してまいります。

#### ●監査

施設の使用料については、その申請方法や減免の基準、利用料金について、現実にそぐわないものが一部で見受けられることから、ルールの厳格な運用と、必要であれば条例や規則の改正なども視野に入れ、調査研究をされたい。

#### ●回答

施設の使用料の支払いについては、現実にそぐわないものが一部で見受けられたため、規則にあつた支払い方法の徹底を図りました。減免基準など使用料については、施設利用に係る受益者負担の見直しを行い、適正化を図ってまいります。

#### ●監査委員紹介

識見監査委員 (代表監査委員) 遠藤 孝生  
議選監査委員 鈴木 眞徳